

鍵姫物語 永久アリス輪舞曲 1



介錯

C111-1

発行 メディアワークス

ISBN4-8402-2770-5
C9979 ¥550E
9784840227704
1929979005504

MediaWorks
発行●メディアワークス
定価：本体550円 ※消費税が別に加算されます
雑誌 49055-81


鍵姫物語永久アリス輪舞曲 ◆ 介錯

鍵姫物語 永久アリス輪舞曲(ロンド)

CONTENTS


Episode:I
素敵な本には
鍵が付いています……
鏡に映った不思議な鍵
キラキラ光る黄金の鍵
誰かが鍵を開けた時……
そうしたら どんなに素晴らしい物語りが
本に書いてあるかがわかるでしょう
でも 今はちょっと待ちましょう
想像する力は果てしなく無限なの
ですから……



物語を
書いている
カリ
僕の中の……
物語……
RESTAURANTE
MESON
DE LOS
想像に創造をめぐらせた
物語……
骨董屋で買った
羽ペンを使って……
ゆっくり丁寧に書いていく……
カリ
カリ
僕の大好きな――
「アリス」の物語を――
カリ…


もうっ!!
有人お兄ちゃんってば!!
あ…ああ きらは……
さっきから ずーっと おフロ入ろうって 言ってるじゃない
…ゴメン 気がつかな かった
どうせ またアリスの話 書いてるんでしょ
そんな事に そんな夢中になって!! もう知らないんだから
プゥゥゥーッ
きらは…
…ま…… いいか…
兄妹だからって いつまでも一緒に おフロ入るわけにも いかないし…


Episode:1




アリス…!?
キン。。
ド
フ。。。ッ



あ……
あの娘は……
アリスだ……!!
僕の想像していた……!!
目が合った……!!
きらは
きらは!
今外見てた!?
外!!
アリスが……
え…?


ごごごっ…
ごめんっ!!
バタンッ!
着替え中だったとは知らなくて…!!
お兄ちゃんっ
一緒におフロに入ってくれるんだねっ!
コラ!! きらは上着くらい着ろ!!
ムネが当たってるって…!!
いーじゃないどーせおフロ入るんだし
入って……
くれるんじゃないの…?
…しっかりつかまってろよ
フラ
フラ
わーいお兄ちゃん力持ちーっ



シャワァァァァァ
お兄ちゃん あとで背中 流しっこ しようね
いいよ 別に……
えーっ 二人っきりの 兄妹なのに〜っ
さっきの あれは…… 現実だったの かな…
月夜に舞う アリス…
お兄ちゃん お兄ちゃん
さっき アリスが何とかって 言ってたけど……
なぁに？
わっ!!
妹とは言え 無防備すぎ だろ…
いいや 別に
冷静に考えてみたら 人があんなに 飛べるわけないし
…何でも ないよ…
ブクブクブク
そんな… まさか…ね


学校は退屈だ
よほどの事がない限り
小・中・高・大へと
エスカレーター式に進めるし
それに友人達とバカ騒ぎするのは楽しいけど
だからと言ってドキドキするような
面白い事もない
そんな時は——そう
アリスの事を考えるに限る——
へへ…
昨日の娘…
まさにアリスだったなぁ…
あれが現実だったらどんなにいいか…
桐原
はっはい
わははは!
妄想ばかりしない
ははい


有人センパイ
今日もきらはちゃんと待ち合わせですの〜♪
ワッ
ヘ
キサちゃん
甘えん坊でね一緒に帰るってきかないんだ
きらはちゃん有人センパイの事大好きですものね〜〜〜〜
キサちゃんも一緒に帰るかい？
とても魅力的なお話ですけど〜
私今日は所用がありますの〜
とても残念ですの…
……
！
ちょっ…キサちゃんまたっ
タッ
今のは…!!
たたたた
あら〜？
キョロ
キョロ



あっ
ドーン
ごめんなさいっ
何を急いでるかは知らないがちゃんと正面を見たまえよ君
はいっ
ひゃーっ高等部の人とぶつかっちゃったよ
すすいませんっ大丈夫ですか
いや大丈夫
ちゃんと目に見える正面を見る……
フム できそうでなかなか難しい事ではあるな…
…面白い研究テーマだ
くそっ見失っちゃうっ
何でこんなに足が早いんだ…!?
ハッ
ハッ
ハッ
日頃……本ばかり読んでるから……
体力少しはつけないと……


でも
ここに入ったのは
間違いないな…
図書館……
図書館
こんな所に……
大学のかな…!?
この中に
あの娘が
カチャ
これが
始まりだとは
思わなかった
…………


…………
見れば見るほど
昨日のアリスにそっくりだ……



た……!!
あなた……
どうして
ここに…?


え…っ!?
キョロ
・・・・っ
そう言えば…
見かけて追いかけて
来ただけだしっ
キョロ
あ…の…
変な奴だって
……………
つい……
そう言う事を
聞いてるんじゃ
ないわ
どうして
この図書館の
中に――
ドキ
あ
君が……
アリスに似てたから
……つい
ドキ
ドキ
似てた…って
当たり前
じゃない



私は……
ありす
なんだから……
やっぱり……
アリスだったんだ……!!
ど…どうしたら
……
ええいっ
ぼ僕
桐原有人って
いいます
想いを
ぶつける
までだっ
す…好き
ですっ!
ずっとずっと
……
憧れて
ましたっ
!?


え…何？
ドキ
こんな所に押しかけて来て…
告白!?
ドキ
すっごく僕の想像どおりで
ドキ
ドキ
ドキ
子供の頃から憧れててずっと
今でも二冊の物語は大好きで…
子供の頃…？二冊…？
それで自分でもアリスの話を…
ちょっと待って
何か食い違ってるわ
君の話してるのはもしかして…
このオルタナイト・L・タキオン著の「アリス」かしら？
ALICE
そうです…けど
え？
え？
え？
やっぱり…



残念ながら…私はあなたのアリスではないわ
有栖川(ありすがわ)ありす
物語の登場人物でも何でもない普通の女の子よ
あちょっとフツーとは違うかナ？
そうかそうだよね………
100年以上前の物語のモデルかそんな…
バカだなぼくは…恥ずかしい…
あなたもアリスの物語…好きなの？
うん……
あでもその本を読んでたって事は……君も…
私も…大好きよ♡
アリスは――
イノセンスが――
アリスについて…こんなに語り合える人がいたなんて…
――
こんなに熱心な人に会ったの初めて…だからあなたはここに来れたのかもしれないわね
ここに来れた…？


アリスの本には
これらの二冊以外に
失われた三冊目…
「終わらないアリス」と言う
本がある…って
聞いた事がある?
三冊目…
終わらない…
アリス…
あれって…
噂じゃ
ないの?
読む方法がある
…としたら?
読みたい!!
ぜひ!!
何としても!!
そうよね!?
そうよね!?
私は
そのために
今日
ここに来たのよ
えっ
って事は
この図書館の中に
冊目が―!?
探すの
協力するよっ
いや
手伝わせて
くれっ!
有人君
能力者
―!?



能力者―?
…って…?
ゴゴゴ
ぱぁ
!
時間が…!!
ギィィィィ…
二人きりの時間…
黄金の午後のはず
ですのに
珍客が
いますのね


いつから
なりましたの～!
……!?
私の心の鍵
その力を解放せよ
乗せて——


変身した……!?
月夜の公に……!!



ななな 何を〜!?
キサちゃんが!!
それに本が
さっき言ったでしょう
「読む方法がある」…って
不意打ちとは
卑怯ですの〜


私の水の鎖…
私の物語を
甘く見ないでほしいですの
ちょっと二人とも!!
そんな―
ギャーッ
ムニュ!?


キャーーッ
H!!
センパイ不潔ですの〜〜
ゴメン!!
わざとじゃないんだ
って言うかどいてください〜
今どいて…
あッ!!
!?
え?



ナイスフォロー
ありがとう♡
な
ななな・・・
何て事を!?
キサちゃんの
ムネに
──!?
あ
あ
大丈夫
死にもケガも
しないわよ
あ
あッ
ああ
あああーッ
はーっ
はー
でも
はっ
心の鍵を
開けて
少しその物語を
読ませてもらう
だけだから──
いや……
やめて…


心の扉 秘密の扉
内なる鍵によってその扉を開き
その物語を示したまえ!!




紙……………
体から
紙が…!?



本…？
その…本は
この娘の心の奥の物語
もう やめて… 見ないで…
この娘の秘密………
この娘だけの物語……
これらを集めると「私達の読みたい物語」「終わらないアリス」へと辿りつけると言われているわ
ああ
あとは返すわね


私達は日々……
自分の秘密とプライドをかけて戦ってるのよ
手伝って
くれるのよね
えっ？
ええ――っ!?
終わらないアリス読みたくないの？
そりゃ読みたいけどさ～…
何であれこうして僕はアリスのためにありすとともに今まで知らなかった不思議の世界へと足を踏み入れる事に…なる
（一緒にいるとドキドキするし）


Episode:2



私は…
私だけのアリスの物語を探しているの
アリスは…そうね夢…
女の子としての夢……
その夢のためならなんだってするわ
「私だけのアリスの物語」って……
終わらないアリスの物語の間違いじゃないの?
そ そうね ちょっと熱くなりすぎたわ
…でも有人君ならわかるでしょ?
…うん
——ありす——


「有栖川ありす」と出会ってから僕達は
毎日のようにここでこうしてアリス講義に花を咲かせている――
不思議なことにあの時あれほど散乱した図書館の中は
なにごともなかったように元通りで――
あれが現実であったかどうか疑いたくなるほどで――
あの鍵を使って作られるという不思議の空間は別次元なのだ…と実感してしまう



そんな……
人から物語を奪うだなんて――
でも でも
みんなってー
みんなやってることよ
さっき戦ったあの娘だってきっと――
私を倒して私の心の中の私の物語を奪うつもりだったと思うし
なにより三番のアリスの本「終わらないアリスの物語」――読みたいじゃない
そりゃあ…そうだけど



なんていうか――
アースに似ている君には……
君にはそんなことしてほしくないっていうか
そういえばさっき じみこと……
りん…り…だっけ…
「好き」って……
……じゃあ…どうしたらいいの？
そ そうだ!! この破ったページ僕が書き写すからさ
「キサちゃん」に返してあげてくれない？


そんなことできたら苦労しないわよ
紙の形をしてるけど心の中の物語なのよ
今までだってー
ちょっと
カリカリ
ーできた!
えっ!?
…本当……
彼女の物語が文節になって書き写されているわ…
………
すごい…
すごいわ!!
すごい能力よ
すごい才能だわ!!
わわっ
ドキン


アリスの物語の作者
オルタナイト・L・タキオンは
人の心の中に物語を
綴る事のできる
超能力者だったとも
いわれているの…
物語が心に残る
言い回しの例えだと
言う人もいるけど
有人君も
同じような能力が
あるかもしれない
………
本当に……
僕にもタキオンと
同じような能力が!?
…は
ご…
ごめんなさい
つい興奮
しちゃって…
でも……
これなら
ページを返して
あげられる…と
思うわ
さあ
え?
これで
なんの問題も
なくなったわ
あなたは
私を手伝うのよ♡


そして キサちゃんの 物語は…
僕の この本にも 綴られている…
ねぇねぇ 有人君…… 自分でアリスの物語を 書いているって 言ってたわよね
うん
今度…… 読ませて もらえない？
えっ
あわ あわわ
いや…僕の書いて いるのなんて… ただの 自己満足だし…
なにより 想像した事を ただ書いているだけで…
想像は 創造の 第一歩ですよ
そうそう それを人に 読ませないで どうするの？
読んでもらえる だけ ありがたいって…
はっ!?
あれ？


司書官さん
本の話に花を咲かせるのはいいんですよ ──でも
ここは図書館なので静かにしてもらえるかしら?
す…すいません
にこし
デートに使うのはいいけど
──ね
カはぁああぁあっ
デ…デートって…
そんな…
ドキッ


ね…ねぇ
こんな所では…恥ずかしいし……
今度の日曜日…
僕の家で…
本…読んでもらえないかな?
え……
あ……
うわっ変に思われたかな……
でも正直アリス好きのありすの感想聞きたい…
ほ…本を読みに…行く…のよね
う…うん…


ひーどーいーっ
お兄ちゃん
ひどーいっ
ひーどーいーっ
ごめん
ごめん…
アリス仲間が
遊びに来る約束
しちゃって…
この間だって
一緒に帰る約束
守らなかったのに
〜〜っ
本っ当ごめん
あとで埋め合わせ
するから
今日は
きらはとお買い物行く
約束してたじゃない!!
もう
お兄ちゃんなんて
知らないんだから!!


しまった……うっかりしてたなぁ…ブンブンモードに入っちゃったよ…
でもまぁ…ありすが…来るわけだし…
お兄ちゃんの…バカ……
バカ…
りくりくモードよりは…いいかも…ね
アリス仲間がきらはよりも大事なのかな…
二人っきりの兄妹なのに…
アリスって…


お兄ちゃんにとって…
アリスってそんなに大切な…事なの…？
ちょっと早く来すぎちゃったかしら…
こういう時ってどうしたらいいんだろ
少し…じらしたりした方がいいのかな……
有人君の方から好きって言っただけだし…私…答えてないし……
（有栖川さん）


ごめん
待った？
ううん
全然っ
へー
ご両親とは
別れて…
共働きでね…
帰ってくるのは
月に1・2回…
だからほとんど
兄妹二人暮し
みたいなものなんだ
妹…さん？
うん
きらはって
いっても
少し
甘えん坊でね…
キサちゃんと
同じクラス
なんだけど
組んでるの？
ほら
うちの学校
エルーヴ制度が
あるから
今のところ
ことわってるよ


じゃあ
その甘えん坊の妹さんにお土産など・・・
チーズ系なんか好きかな
きらはの機嫌も直るかもしれないし・・・
女の子ってこういうところに気がつくんだ・・・
そういえば・・・
アリスの話以外するのって・・・
初めて・・・かも・・・
これじゃあまるで
恋人同士・・・・・・みたいな・・・!!
あ 帰ってきた
・・・・・・・・
ただいま——


!?
お兄ちゃんお帰りーーっ
!?
人前で…


兄妹同士だし
別に変なことじゃ
ないじゃない
いつも
しているんだしさぁ
い…いつも…
って……
いつもこんな事を!?
お兄ちゃん
この人は?
ま…まぁ
兄妹だし…
あ
有栖川ありす
…さん
すっごくアリスの
物語について
詳しいんだよ
変な事
ではない…
といえばない…
わね
っていうか
何か思いっきり
あ これ
きらはちゃんに
お土産
ケーキよ♡
わぁっ
ありがとう!!
さっそく
紅茶入れるねっ
マイセンの
とっておきのを
出しちゃう♡
ぱた
ぱた
ぱた
かなりの…
お兄ちゃんっ子
でね……
そうね…


ハイ お兄ちゃん
あ〜〜〜ん♡
じとーーっ
ちょっ… きらは… いいってば
あせ
あせ
うわーっ 甘え甘え モードだよっ
えーっ 兄妹なのに ーー!?
………
それじゃ
ぴ
それじゃ


ちらっ
いつもみたいに
きらはに
食べさせてっ♡
あーん
それならいいよねっ
いつも
食べさせて
ないだろ
この娘…
見せつけて
るんだわ…
きらは！
人がいるのに少し
甘えすぎだぞ
じゃあじゃあ
いない時に食べさせて
くれます
いない時でも
食べさせ合いする
兄妹なんて
そうそういないと
思うんだけど…
きらはと
お兄ちゃんは
超仲のいい
二人っきりの
兄妹なんだもんっ


おフロだって二人で入って
わーっ
いろ～んな所を流しっこするんだから
二人で入って…
うそ うそ うそ そんな事してないよ 絶対!!


流しっこ〜〜♡!?
ぷいーぷいー
本当の事じゃない!!
昨日だって
わーっ
わーっ


バカッ
変態っ
もう知らないからっ!?
きゃあああ お兄ちゃん
あ 有栖川さんっ



バカ…
バカ
バカ バカ
バカッ…
変態
サイテーッ
信じらんないっ
あんな
やつだなんて
思わなかった!!
もうっ
あれは病気よ
ビョーキ!!
趣味が合ったって
あんなんじゃ…
どんなすごい
能力があっても
人として
越えちゃいけない
一線ってのが
あるでしょーっ
私のこと…
好きって
言ったのに…
本当……
あんなのと
組んでたら
私まで病気に
なっちゃう


タタタタタタ
なんとか
誤解だけでも
解かないと…
キョロ
せっかく…
キョロ
せっかくあんなに
アリスの事を
わかっている友人が
できたのに……
話し語り合える
相手が見つかったのに!


!!
ミイイィン…
これは…
不思議の空間!!
キョロ
一体
誰が……




ゴゴゴ


きゃあーっ
有栖川さん!!
く……


変身…しなきゃ
変身して戦わなきゃ…
ギャッ
！
アリスに取り憑かれた愚か者は
死すべし―
いや……
いや…いや…いやいやっ
ギャ
いやああ～～～っ


やめろっ!!
してないのに
卑怯だ!!
……


有人…君…
来て…くれたんだ…
手伝うって…
ニコ。
言ったよね…
きゅんっ
ズ…
………
私の心の鍵ー
鏡の鍵
物語の調べに乗せてーー
その力を解放せよ！


スキありっ



うりゃっ!!
ひ…
卑怯な…!?


卑怯じゃないわよ
最初に襲ってきたのはあっちなんだから
これでおあいこよっ！
くッ…
やっぱり…アリス好きにろくな人間はいないわ…
!?
やっぱり…心を奪っておくべきだったわ
き……
きらは!?


Episode 3


き…らは
…っ
なのか…っ?
どうして……!!
なんでこんな事を……!!
きらはもありす達みたく戦っていたというのか…っ


まさか
お兄ちゃんまで
不思議の空間に
入って来てたなんて
……
お兄ちゃんには
知られないと
思ってたのに…
そんな…
有人君…
きらはちゃんは
有人君が思っているよりも
秘密が多いみたいね
この世界に
足を踏み入れた
人の目的は
ひとつ!!
相手から
物語を奪うのみ
なのよ!!


きらは!!
有栖川さん!!
!!



あなたがお兄ちゃんをこの世界に導いたのね!!
許さない!!


きらはちゃんも
アリスの物語が
読みたいのね
やっぱり
有人魚の
娘ね
アリスの物語なんて
大嫌い!!
読みたくも
ないわ!!
え？
それじゃあ
どうして…？
きらは
そりゃあたしにも
わがままなところも
あるし
人を傷つけるような
娘じゃない
なにか理由が
あるはずだ
…!!
二人とも
やめるんだ
!!


そんなの…!!
決まってる——!
つ…強…い
二人とも
やめろー!


決まってるじゃない!!
あ…有栖川さん…!!


あぶなーいっ!!
ムギューッ
植え込みで
助かっ…
イテテ
うわあああ
ああ!?


お兄ちゃん!!
パラ
パラ
パラ
パラ



あ・・・れ？
あれだけ痛めつけた体で・・・お兄ちゃんを守った・・・？
思ったより悪い人じゃないのかも・・・
有人君・・・身を投げ出して私を助けてくれた・・・
ドキッ
やっぱり・・・有人君は私のこと・・・
ドキ
ドキ
有人君ありがー
お兄ちゃん大丈夫だったー！？
きらは・・・
・・・・・・
ありがとう・・・きらは達のおかげで助かったよ


…でも きらは こんなことは もうやめるんだ
あぶない だろう
そうか……
今回はこれで すんだかも しれない…
いつか…負けて
キサちゃんみたいに…
いやぁっ…
いやああ ああっ


そんなの兄妹として おかしい――!!
だって…
わかった かい…?
だっても何も ないよ お兄ちゃんの 言うことが 聞けないのかい!?
それとも 何か理由が!?
……
ずるいよ……
だって…
そんなの いえるわけ ない…


わかったよ…
お兄……
あっ
!?
お…お兄ちゃ…
!!


あ…有栖川さん!?


そ…そんな…後ろからなのに
そんな…
胸の辺りに差し込んでいるからね物は試しよ
やめるんならいいわよね
有人君と「終わらないアリス」にたどり着くために――
きらはちゃんのページ遠慮なく見せてもらうわ
見るだけよ見るだけ
確かに…有栖川さんにページを取り出してもらえば
誰かに奪われずに僕が書き写して元に戻す事ができる……
そう言うことよ♡
心の扉―秘密の扉
内なる鍵によってその扉を開き
や…助けて…
他の人に奪われるよりは安全かもしれない――
助けて…お兄ちゃあん…!


助けてえぇっ
お兄ちゃああ
あんっ
お兄ちゃん
でも……
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん
その物語を
示したまえ!!
僕はきらはの
お兄ちゃんだー!!
やめろおおおお!!





キュピッ
いただきっ


どんな秘密の物語が隠されてるかなー
お兄ちゃんー
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん——
これは——
あっ
やめろっ覗くなっ!!
僕の妹だぞ!!
有栖川さんだって肉親の秘密は知られたくないだろっ!!


あ…有人君…
それに…卑怯な戦い方ー よくないと思うー
そんな戦い方ー してほしくない
できる限りの協力はするから
やめてほしい
あ…う… うん
きゃーっ「やめてほしい」だって
わかったわ…
わかった…
私を助けに来てくれたんだもん…
きらはちゃんがどう思ってても…
有人君は妹としてきらはちゃんのこと大切にしてるみたいだから——



お…兄ちゃん
私…
お兄ちゃんが守ってくれた……
お兄ちゃんに喜んでもらいたかったの…
「終わらないアリス」を見つけて
びっくりさせようって…
!
思ってただけなんだよぅ……
心配かけるつもりも何もなかったの…
ばかだなぁきらは…
ありがとう……
ぎゅ…
お兄ちゃん



それじゃあさ
どうせ私と有人君は「終わらないアリス」を読むまでがんばるつもりだし
きらはちゃんを入れた三人で探すってのはどう？
え
三人の方が強いだろうし効率もよさそうだし
私達が手に入れたページは有人君に書き写してもらって
何より三人ならきらはちゃんも一緒にいて安全だし
それならお兄ちゃんの役にも立てるし…
きらはがんばるよっ
あ いや そりゃあ そうかもしれないけど
そうだねっ一緒にいれば安全よねっ
き きらは お兄ちゃんは そういうことを言ってるんじゃなくて

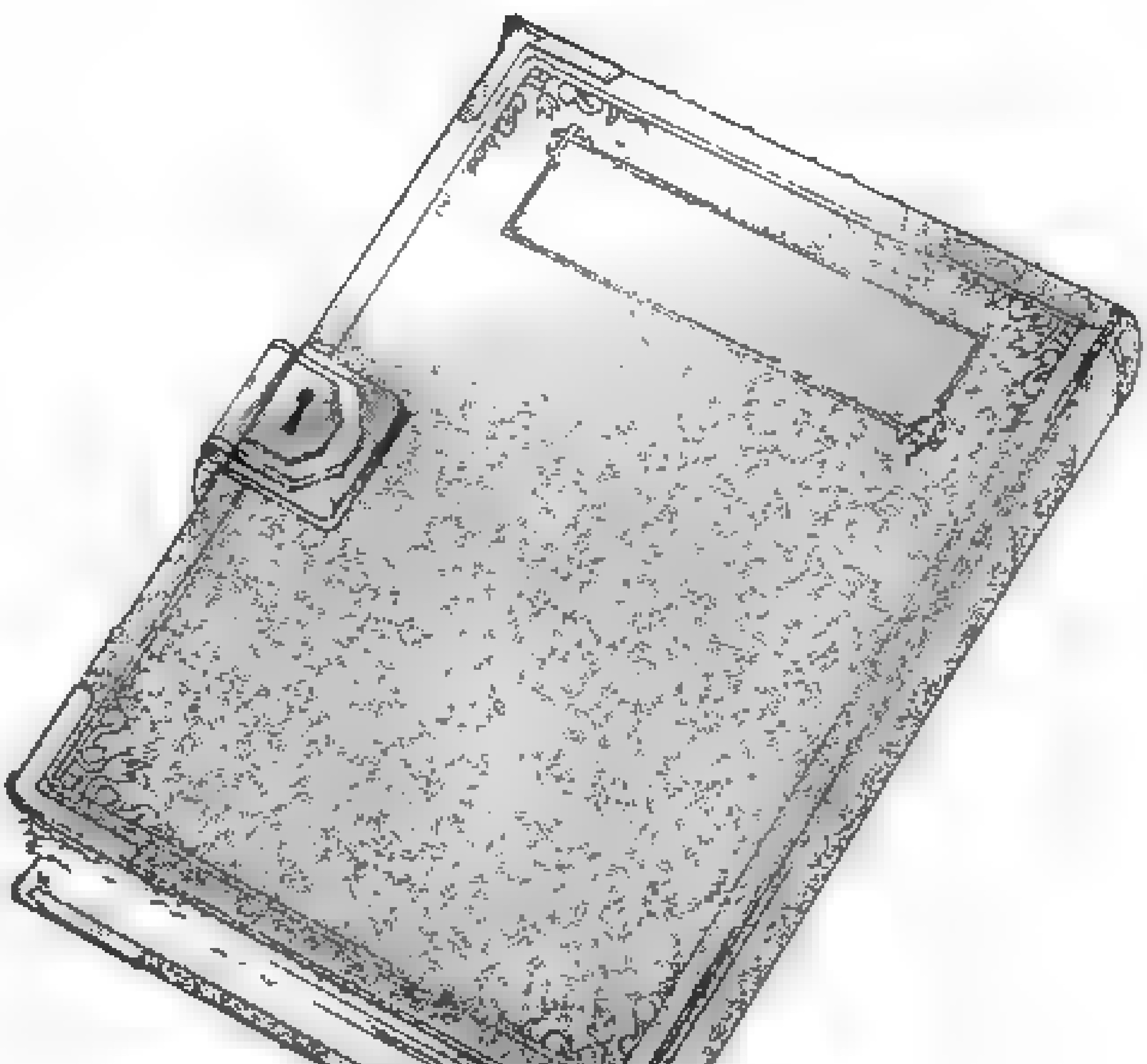

三人で
おーーーっ!
ちょ
ちょっと…
アリス同盟
結成〜〜〜
やっぱり
兄妹だからって
くっつきすぎじゃ
ないの!?
お兄ちゃんの
一番は
きらはたちもんっ!!
心の中の世界の
物語を書き写す事が
できる能力を
持った――
少年――
か……


物語を求める者が協力をする——か
カリ…
ス…
想像力は人との語らいで深く強く膨大に膨れ上がらすことができるが……
時にまとまった想像力は大きくなりすぎてそれに固執してしまう危険性もある…
手を打つ必要があるやもしれんな——
……



君もそう思うだろう?
—アリス—
そうですね——
想像する力は果てしなく無限ですから—

雛姫物語 永久アリス輪舞曲(ロンド)



Episode:4



今日も
今日とて
物語を
書いている——
僕だけの
アリスの物語
ん
ここ最近の
様々な出来事は
僕の想像力を
さらにかき立てて——
カリ
カリ
それはそれはもう
すごい事に
なってるわけで
カリ
カリ
有人君
高等部の
鷲木センパイが
呼んでるって
えっ
鷲木センパイ
って？
ほら
高等部だけど
大学院を出てる
っていう天才の話
聞いたことあるだろ
その天才が
僕に——？
何の用？
さあ…
エレーヴが
どうのって…


何だろ
エレーザ制度かあ…
来たな
呼び出してすまなかった
失礼します
この人が……
桐原有人
キリカ先輩…


君に興味がある…




これは命令だ——
拒否はできない
え……!?
な…なん…!?
何だ この人ーっ


君の…その体…
そして心……
すべてが興味深い…
研究対象だよ
ごめんなさい こっちの方までつきあってもらっちゃって
いいのいいの ヒマしてたから
君が望むなら——
私は……
あ 有人君
お兄ちゃん


私は自分の
すべてをさらけ出すの
厭わないよ…
ななあ!?
な〜〜〜っ!?


Episode:4


どょーーーん
なるほど…
わざとではない…と
この私の研究室……そして
研究データーすべての入ったパソコンをメチャメチャにしたのはわざとではないと
そういってるわけだね…


あの…
そもそも私は関係ないし…
本当にわざとじゃ…
お兄ちゃんにあんな事するから…
つまづいただけだもん…
本当に…
すいませんでした……
でも…
もとはといえば
貫本先輩が変なこと言うからじゃあ…
そのセクシーな体でっ!!


私の体を使って試してみないか…
君の体…心…その構造…
えっ
舞木先輩の体を使って試すって…
まさか…
まさか――!!
みみみ…見えちゃう～


その能力…
ダメーーッ!!
きゃ
き きらは!?
きゃあーっ!!
おぶ!!


でも…
あのまま
誰も入ってこなかったら
どうなってたんだろう…
ドキ
ドキ
ドキ
損失した
研究データーは
膨大だった…
やはり……
この損失を
埋めるためには
君が私と
エレーヴして
研究に協力するしか…
ないと思うんだが
ダメです!!
お兄ちゃんと
エレーヴするのは
私だもんっ!!
だきっ
どっちとも
しないよ…
こまったな…
私は君と親睦を
深めたいだけ
なのだが…
それじゃ
エレーヴしなくても
いいから私の研究
材料として…
先輩!
何で有人君に
そんなにこだわるんですか!?
だいたい
研究 研究って
何の研究ですか!?
それは…
えっ!?


私の研究━━か…
よし━━
話してやろう
君達にも
関係のある話だ
え…っ


私の鍵
心の鍵よ――
その扉を開きたまえ
ガチャ
こ…これはっ!!
不思議の空間!!
開け!!
変身!!



この学園にも
他にこの力を
使える人が――!?
先輩もやっぱり
私達の物語を
狙っているのよ!!
あやしいと
思った!!
私のしている
研究テーマ
アリス(物語)に捕らわれた
人の心の研究――
アリス症候群(シンドローム)――
アリス能力者の
研究だ――
どこだ――?
三人で
まとまって
そんなに
警戒しないで
ほしいな…
すぐ目の前にいる
じゃないか…
何も君達二人とは
戦うつもりも
どうこうするつもりも
ないよ――
ボクには
どうこうする
つもりなんだ…
そして我々の
求めるものは
みんな同じ
はず――


それを読めば
どんな願いも
かなうという
「終わらないアリス」を
手に入れることだ!!
そうだろう?
え……


君達
アリス能力者なら
わかるはずだ…
夢や童話や
御伽噺のような
話だが…
そんな不思議な話が
現実かも知れないと
いうことが……
ちょっ
ちょっと待って
ください…
もしかして
森木先輩──!?
──!?
そうだが
この姿か──!?
こっちの世界では
私の姿はなぜか
幼くなってしまうのだ
おそらく幼年期の
何かが原因だと
思うのだが……
それに
その願いが
かなうってのも
初耳なんですが…
え!?
お兄ちゃん達
知らなかったの!?
有栖川さん
は…?
信じらんない…
じゃあ何で
戦ってたの?



ぽやーーん
そりゃあ
「終わらないアリス」を読んで 物語にドキドキワクワクするため
よね♡
ドキッ
じっ
信じらんない… 知らないで 戦ってたなんて…
くらっ
でもでも それが本当だと したら
ひとつぶで2度おいしい!?
本が読めた上に 願いがかなうってこと!?
私は研究の結果 ある仮説を 立てた――
いや―― 女である君達二人には 本能的にわかっている ことかも知れないが―


アリス能力者は
想像力の扉を開けて
戦い
想像力を奪い合う
戦士――
決闘者――
それは
無限の想像力を
手に入れる事に
他ならない!!
そして その
無限の想像力を
造る力ー創造力へと
変えるものが
「終わらないアリスの物語」
だとしたら――?
そんな考え方…
したことが…
だいたい何で
そんなことを
知ってるんですか
――?
私を誰だと
思ってる――?
史上最年少で
ノーベル賞を取り
歴史の教科書に
名前を残す女だよ
……(予定)
……
わけわかんなくて
すごい……
さて桐原君
ここからが
本題だ……
ずい
君は非常に
面白くて
希有な存在だ



君の持つ能力が もし本当に 人の想像力―心の物語を 書き留めておく事が できるとしたら――
つまり―― オリジナルではない コピーを作る事が できるとしたら――
は…い？
あーっ
？
願い事が増やせて いくらでも かなうって ことじゃない!?
そう…そして それを研究して 真理に辿り着く事が できたなら――
！
人は…!! 新たなる歩を 踏み出せるかも しれない――!!
お兄ちゃん 何かあの人 アブなくない？



ワイ
ワイ
ワイ
ワイ
ワイ
お兄ちゃん なんでOK したの？
そうよ…
先輩敵かも しれないのに…
研究データーを 壊しちゃったのは 事実だし…
なんていうの かなぁ… みんな奪い合うことを 意識しすぎだと 思うんだよな
うーん…
そういう解決策が あってもいいと 思う
それに、もし僕の力が そんな大それた力 だったとして…
終わらないアリスとか 願いがかなうとか…
まるで夢物語 みたいな事が 現実かもしれない って思うと…
それだけでもう
やっぱり それね…
にこ
にこ


何ていうか……
面白そうな想像力が
いっぱいわくよね！
あら
創造探知機が
……
本当だ…
すごい物だな
……
エレーヴは
あきらめたから
これでデーターを
取らせてくれる
だけでいい――
本当は
血を抜いたり
スライスしたり
いろいろ調べたい
ところだが
想像力というのは
本来 女の方が
強いんだ――
だから
あの世界では
女しか見たこと
ない――
たが君は違う
普段からなにか
そのような訓練を
しているのかも
しれない……
この
ブレスレットは
それを調べる
機械だ
……つまり
今君は
ドキドキして
そしていろいろな事を
想像したはずだ
想像が一定を超えると
光るという仕組みさ
わっ!?


データーは勝手に
こちらで受け取るから
普段どおりに
生活してほしい…
普段どおり…かあ
ありすちゃん
ありすちゃん
あれって つまり
お兄ちゃんが
誰にかに対して
ドキドキしたり
想像したり
するかって事よね
う…
うん
ってことは
相手をどれだけ
意識しているかって
こと——つまり
好きってことよね
そう…
なのかな…
正々堂々と
勝負してね
？
ええっ!?
これって何かの
勝負なの!?
ありすちゃん
にも
キリカさんにも
負けないんだからねッ
きらはちゃんって
すっごく負けず嫌いの
やきもち焼きなのね…
う…うん…


そうよっ
おにいちゃんを
一番ドキドキさせられるのは—
らはなんだからっ!!
有人
お兄ちゃん
ん？
いつもとおり
ってことは
…おフロ一緒に
入るんだよね


い…いやあ…
ほら
有栖川さんも
言ってたけど
あせ あせ
二人っきりの
兄妹だからって
もうこの年で
一緒に入るってのは
どうかなぁ
落ち着け…
いつもの事だ
妹相手に
ドキドキしたら
こまるしっ
そっかあ…
そうだよね…
しゅん…
ホッ…3
いつになく
素直で
よかった…
きらはみたいに
おっぱい小さい
妹と入っても
つまんないもんね…
ガーン
おっぱい大きい
キリカさんやありすちゃんと
入った方が楽しい
もんね…
きっとだからだ…
ババカ
妹相手に
つまんないとか
大きいとか
そんなふうに
考えるわけ
ないだろ!!
何言ってるんだ!!
大事な妹を
そんな目で
見ないよっ!!
じゃあ…
仲良く入って
くれても
いいんじゃ
ないの?


サァァァ…
シャワァァァァ
弱いなぁ……
意思が…
でも兄としては無邪気に慕って来る妹にドキドキするわけにはいかないんだ——！
平常心
平常心——
お兄ちゃん背中洗ってーっ
んああ
お安い御用だよ
終わったらお兄ちゃんの体洗ったげるね
すみずみまで♡
ドキッ
見ないように
ざばっ
平常心平常心何も考えちゃいけ…


ズルーッ
ぷにゅん
きゃっ!!
ぷにゅ
ぷにゅ…
って…
!!
ドッキイィン
ととと
いけない!!
ご…ごめん
きらは
お兄ちゃん
すべっちゃって
ぼっ
平常心
平常心——
ふっ
ふっ
ふふ…
——!?
え……!?
たったっ
ピチョン
き…らは…?


いた いた
はっ
あら どうしたの？
元気ない じゃない？
いつもみたいに アリスの話は しないの？
ん…ちょっとね
…じゃあさ
外で気分転換でも しよっか？


実は今日
ランチなどを作ってきてみたのよ——
きらはちゃんに取り入ろうってつもりじゃないけど——とりあえず……ね
なるほど…
きらはちゃんとケンカして口きいてないの…
やっぱり妹とはいえ女の子だな…
何考えてるかさっぱりだよ…
よかった……


え？
私ね…ちょっとだけ心配だったんだ…
いつもニコニコアリスの話をする有人君しか見てなかったから――
普通に女の子に振り回されてこまってるのを見て…
少し安心しちゃった
アリスだけじゃなく
普通の女の子にもちゃんと興味あるんだなぁって…
え…!?
それって――どういう……!?
ドキッ
有人君…私ね…


有人君とアリスの話やいろんな想像を話すのは楽しいの――
私もアリスがすっごく好きだから――こんなに話が合う人は初めて…
おまけに不思議の空間で一緒に戦ってくれるし…
だから――
この出会いを大切に…とか
ゴニョゴニョ


だから……？
言えないっ そんな恥ずかしいことっ!!
やっぱりときどき… 有柄川さんが アリスみたいに思えて ドキドキする…
トクン
僕の理想の… 憧れの女の子… アリス…
トクン
好きだって 言っちゃったから アリスっぽく見えるのか
それともやっぱり アリスっぽいのか… どっちだろ…
ドキ
ドキ
だいたいっ よく考えたら そのこまらせてる 女の子って…
私じゃないしっ
ドキ
ドキ
ははははは
だから── 作ってきた ランチを 食べよっか
そ そうだねっ



私…自分で思ってるより やきもち焼きなんだわ…
これじゃあ きらはちゃんのこと 笑えない…
そうなんだよな…
間違ってるとはいえ 一回告白しちゃってるんだよな…
だいたい……
有栖川さんは有人君―
つき合ってるって思ってるのかな…
どっちなんだろ……
お互いに気まずくなりたくないし…
いまさら聞けないよ…
ぐぼあああああ
想像を超える味だァーーッ!!
大変!!



フム…
何と言うか…君は見事なまでに凡人だな
すいません…
だが面白い事もわかったぞ
君は一般の人と比べてはるかに想像を膨らませたりドキドキする事が多いな
日常が空想と刺激に溢れている……
きっと同じ日々のくり返しでも初めての事のように様々な刺激があるのだろう
まあ確かにアリスの事は何度読んでもドキドキします
そこでだ初めての体験だとどのくらいの想像を膨らますのかテストしてみよう
ずいっ


初めての…
ええっ!?
幸い あのうるさい 二人もいないし
体験…!?
そうだな インパクトを 強くするために 目をつぶって もらえるか?
まずは 服を 脱いで…
服っ!?
大丈夫 私がリードする ズボンも脱いで
年上の女性が リード!? そして ズ…ズボンまでっ!?
これは 研究… 研究のため…
そうそう
これをこう——
こらっ動くな
研究のため なんですよ ねっ!!
よし 外に出るぞ 足元に 気をつけて
ええっ 初めてで外!? 誰かに 見られたらっ!?
人に 見られず 何の意味が あるんだ
なんて マニアック なんだ…
よし いいぞ 目を開け たまえ——


PATSSIER
ヒラ
ヒラ
初めてって
女装ですか!!
そう…しかも
路上放置プレイだ
先輩!!
どこですか
先輩!!
大声を出すと
男である事が
バレるぞ
それに
今までにない
感覚
だろう?
た…
確かにッ


ものすごく想像力をかきたてられるッ
ドッキ
女の子って…こんなカンジなの…!?
ドッキ
こ…これがあたし…!?
カワイー♡
うっわースカートスースーする!!
くる
くる
何という順応の早さだ…
さすが研究するだけの価値はある…


ビクッ
じぃーっ
はっ
くる
スススス…
あの
まさか……
まさかとは
思うけど…
お兄ちゃん
……!?
ギクゥゥーン!
思いっきり
バレたーっ!!


しっ…信じらんない～
決して好きでやってるわけじゃその…
わたわた
これは研究のためで
けど…
けっこう似合ってるじゃない
お兄…いいえっおネーちゃん
あ…きらはと話せてる…?
そ…そうかな…?
ひゃっ
トランクス…
まだまだね
これでおあいこっ
今度私の服貸してあげる
きゃいきゃい
ええーっ
な…なんという事だ…
あの兄妹の関係は明らかに普通じゃない…
環境によるものなのか!? そうなのか!?


…という訳で向こう隣に引っ越してきた黄木だ
近い環境から研究していくことにしたよ
協力よろしく…
ええーーっ!?
…結局一番センサーが反応していたのは
きらはでも有栖川さんでも女装でもなく
おフロに入る前のアリスの物語を書いてる時でした…


ピッ
ピリッ
あ…あなたも アリスなら わかるでしょ…？
シュパーンッ
ぺらり
こんな…現実 こんな――
こんな事をしても 意味ない でしょ――？
ねぇ…
聞いてる…？
そ…そうだわ 私 今までに 四人分の物語を 集めたのよ
それで――




うっうっ
ひッ…
私の…
物語は…
私の…
………




Episode:5


ひどい火事だったなぁー
ざわ
ざわ
ざわ
まずいわね・
後手後手に回ってるわ
このままでは終わらないアリスが終わってしまう
んむ
もう・全部食べてもいいかですって
一個だけ残しておきなさい・一個だけ


ふーむ
また本屋が火事か……
このところ貸本屋や本屋の火事が多いな
しかもこのコーヒーは砂糖が0.05g少ない
そして必ずといっていいほど人が死ぬ
人の家に来てずうずうしいわ!!
私の調べでは
死んだ彼女達はアリス能力者だ


え…？
過去に戦っているのを観察したことがある
アリス能力者達が死んでいる…？まさか……殺されているってことですか…？
そういう推測もできる…ということだな
キリカさん
なんでわざわざそんな格好でくるんですか？
フケツです
不潔？
きわめて衛生的だと思うが？
ぼよん
そういう意味じゃなくて服が良くないって言ってるの!!
こんなに露出度が高かったら
お兄ちゃんが…
うわぁっ!!


脱がないっ!!
服が良くないのだろう?
お兄ちゃんも見ちゃダメっ
誰か客人が来たみたいだぞ
トトトト
その格好で出ないでくださいっ


もーっ びっくり させないで ください
Hな事とか してるのかと 思っちゃった キリカ先輩 大胆っていうか そういうところ あるから……
って どうして キリカ先輩が いるんですか？
気づくの 遅すぎよ ありすちゃん…
なっ!?
研究のために 近所に引っ越して 来た!?
遠くからこっそり 観察されるのより 近くできちんと 観察される方が 良いと言ったのでな… 仕方なく来ている わけだ
知らず知らずに 覗かれて いるより そっちの方が いいと思ったん だよなあ…
来なきゃ いいのにね
ってことは 私も近くに住めば 毎日入り浸って いいのかしら!?
ダメに 決まっている でしょ!!


で今日は ありすちゃん 何の用なの？
モロジフ限定 チーズケーキが 買えたから
みんなで 食べようかと 思って…♡
あそこの チーズケーキが 手に入るなんて 珍しいな…
でも 三個しか ないのよね…
まさか 四人だとは 思わなかった から……
懐柔策に 来たんでしょ？
一個は 私のだから ねっ♡
確かに… きらはちゃんの 好物だって 買ってきたんだから 食べてもらわないと こまる…かも
まぁ 懐柔策だって わかってるから
そうやすやすとは 懐柔されない けどねっ
コロコロコロ



きゃーっ♡ おいし〜っ♡
本当においしそうだな…
なるほど限定のチーズケーキか……
どんな味なのかとぜひとも研究してみたいものだなぁ
もしかしたらレピシとか隠し味とかわかるかもしれないな うん
食べたいなら食べたいって言ってくださいよ先輩
そうかでは
待ってくださいよ
今回の場合買ってきた有栖川さんは食べる権利があると思うんですよね
う…うむ正論だ
だから まず有栖川さんに一個
有人君やさしいなあ…♡


そして残り一個はもともと…
まぁ 待て そう答えを急ぐな いろいろ考えてみようじゃないか
だいたい ここの家は来客にコーヒーやケーキも出さないのか!!
コーヒーなら目の前に…
人の家を観察に来ている人を来客とはいわないんじゃない?
いいこと言ったきらは今とってもいいこと言ったね
そうか…
ここにこの間の写真とレポートがあるんだが…
わーーっ!?
あらっ有人君食べないの!?
う…うん まあ…ね
一緒に食べようと思ってたのに
しょぼん。。


コーヒー豆がもうないなぁ
あ 食べ終わったら私 買ってくるよ
いいよ ホラ さっき言ってたろ 危ないかもしれないから 僕が行くよ
ぱぱっと買ってくるよ
ポフ
お兄ちゃん やさし～♡
じゃあ 行ってくる
えっ えっ
た…食べたいけど……
きらはちゃん 私 用事思い出しちゃったから 帰るねっ
本当!!
…とまぁ まんまと懐柔策に乗せられてしまうわけだな
ん?
有人君とどこかでお茶しちゃおーっと♡
たた
たた
なんてこと…
ぴたっ
見失っちゃ意味がないじゃない


てく
あそこかぁ 先輩の言ってた 火事のあった 本屋って…
本当に 焼けてるよ
あそこどんな 店だったっけ ……
うーんっ。
たしか。。
てく
てく
古本屋だ!! しかも 目をつけてた アリスの本のあった 古本屋じゃないか!!
買って おけば よかった～
燃えちゃった かなぁ
でも 見つけたときは お金がなかったん だよなぁ……
ぐにゅ?


わあっ!!
ひ…人!?
すいません
すいませんっ!!
あの
もしゃ
もしゃ
もしゃ



……大丈夫ですか…？
おなか…空いてたのかな…
……



え？
え？
なにをっ!?
の…
のど
のど
渇いてない？
なんだろ
この娘…
き…
君は
ここで
何をしてたの
——？
名前は？


やっぱり…
アンデルセンだ…
すっく
アンデルセン?
ぐいぐい
ちょちょっと
綺麗なもの…
見せてやる
とててて
お礼…
なのかな…


綺麗なもの…見せてやる
……
なりゆきとはいえ知らない娘と手をつないでいるところなんか誰かに見られたら
恥ずかしいなぁ
ぎゅううううっ
どんどん行っちゃうし…
みかけによらず力あるんだなぁ
あ…有人君てば……
なに!?あの娘
なに?仲良く手をつないで…どこへ行くっていうの…!?
私だってつないだことないのに


ここは…
図書館に
綺麗な物が…!?
画集とか挿絵かなー
あら？
今日はいつもの娘じゃないのね
浮気が過ぎると火が点くわよ
そ
そんなんじゃありませんよ
有人…
ほらほら新しい彼女が呼んでるわよ
そんなんじゃないですからねっ
たたた



ギギギ
うわあああっ!?
パチ
パチ
綺麗を
あげる
メラ
メラ
メラ
うわわ
わわわっ!!
ばた ばた
なな
なんてことをっ!!


そこーーっ!!
きれい・・・
なにしてるの・・・
ここは貴重で
大切な・・・・・・



司書官さんっ!?
綺麗を消した…
よくない
ちょ
ちょっとちょっと待って!!
なに考えてるんだよっ!?
有人の綺麗…
消した
う…
あ…あれが僕へのお礼?
まさかこのところの本屋の火事って…


まさか……
アリス能力者達を狙ってるっていうのも…
ぼ
僕はもういいからさ
ひく
やめてくれないかな？
きく
コク…
有人はアンデルセンだから
え？
アンデルセンって君の名前じゃなくて僕のこと？
じ…じゃあ君の名前は？
暁アカネ
タタタ
トトト
暁アカネ――
アカネちゃんていうんだ…
いい名前だね
もしかして――
君――
！



これは…不思議の空間
でも
この空間にアカネちゃんもいるってことは――
有人くん離れてっ
有栖川さんっ!
その娘危険だわ!!
有人くんを困らそうったってそうはいかないんだから!!
決闘よ!! 変身しなさい!!


アリス…醜い…
アリス…綺麗にする


醜いって
どういうことよっ!!
いけるっ!!
力で押せる感じだわっ!!
まさか…アリス能力者を時計にするために火を点けたっていうのか?
だとしたら本当にアカネちゃんが―
着火!! 炎の鍵!!! 我が願いをかなえろ!!!

デザイン協力／宮下未紀


鳳凰天舞!!!


きゃああ!!
あああああ!!
うっとり…
綺麗……
大丈夫!? 有栖川さんっ!!
よ…よく考えたら私…不意打ち以外で勝った事…ない…かも…
思ったより弱いみたい………
じゃあ なんで決闘だなんて!!



だって…有人君が
卑怯な事はするなって…
ニコッ
あ……
ギ…
勝負はついたはずだ……
物語を奪うのも綺麗にするのも少しだけ待って
僕の話を聞いてくれないかな？
君はきっとわかってくれる……
いい子なはずだ…
アンデルセン……
ね



あ…有人君
お前らアリスが——
たとえビーナスのように美しいミスユニバーサルだったとしても
たとえ献身なクリスチャンのような聖女だったとしても



たとえ
お前の持つ
物語が
100万ページに及ぶ大作だったとしても
失うことなく
綺麗にしてやる
こっちでも
あっちでも!!
や…やめ…
やめろオオオオ!!
そこまでよっ!!
暁アカネっ!!


アリス警察参上!!
あなたを逮捕します!!

おまけ


もちろん現実の不思議の国のアリスや鏡の国のアリスはルイス・キャロル作ですが
作中でアリスの物語の作者は「オルタナイト・L・タキオン」となっています
別にそのままでもよかったのですがアリス評論になった時ルイス・キャロルだと――
小さい子供と仲良くできるようにカバンにはいつもオモチャが入っていたらしいよ
ワイ ワイ
アリスに求婚して一家が引っ越しちゃったみたいね
少女のヌードの撮影ばかりしていたとか…
図書館では静かに~
ねえ何の話…
少女嗜好家で有名だったって
……つまりロリペドね
当時は珍しくもなかったみたいだけど
アリスの結婚式にも呼んでもらえなかったって…
どよおおおおん
そもそもアリスの物語って少女の気を引くために作った話だったみたいだし
こんなんなっちゃうので何か夢がないよね…


鍵姫物語
永久アリス輪舞曲
ロンド


想像を巡らし
物語を綴るのは
好きだ——
それが
「アリス」の物語であれば
なおさらの事——
Privilege
僕の名前は
桐原有人——
アリス好きの
学生——
言い方はいろいろあるけど
アリスの物語に
のめり込んでいる事だけは
確かな事だ——
ある夜
僕は見てしまった
平凡な日常では——
ありえない光景——
永久アリス輪舞曲 予告編



月光に光る――
本から抜け出たような少女――
それが――
ありすとの出会いだった――
知ってる？アリスの物語には失われた三冊目
「終わらないアリス」という本があるって噂
えっ!?
かれていく心――
お兄ちゃん一緒に帰ろっ♡


あなたの選んだ道よ——
私——？アリスよ
アリスの物語はぜーんぶ私の物語なの
覗かないで!!
私の心を覗かないでよぉぉ
心の鍵を閉めた人々
アリスシンドローム
アリス能力者——
その者達が行き着く先は—何？
私は——それを見てみたい…


このアリスの物語は——
永久に——終わらない物語だよ——
終わらない物語を——終わらせるための戦いが
——今——始まる——
鍵姫物語
永久アリス輪舞曲
ロンド
介錯
KAI SHAKU

鍵姫物語 永久アリス輪舞曲

—介 錯—

七戸輝正

太田 仁

—アシスタント—

戸田陽近

山下大輔

柴生田利則

梶山直人

冨岡將司

山下裕次

—スペシャルサンクス—

外山太一

北原勇希

柳井伸彦

田邊千奈美

—デザイン協力—

宮下未紀

DENGEKI COMICS

鍵姫物語
永久アリス輪舞曲(ロンド)①

2004年8月15日　初版発行

著者	介錯
発行者	佐藤辰男
発行所	株式会社メディアワークス　〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館 電話03-5281-5215(編集)
発売元	株式会社角川書店　〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話03-3238-8605(営業)
カバーデザイン	團 夢見(伸童舎)
装丁	朝倉哲也　(design CREST)
印刷・製本	共同印刷株式会社

初出／コミック電撃大王 2004年2月号～2004年7月号(メディアワークス刊)
ISBN4-8402-2770-5 C9979